

# PIC

PICマイコンについて記述しようと思っっていますが、もっと偉大なサイトが星の数ほどあるので、国内では情報が少ないMikroCについて記述していく予定です。

2021.07.03 追記 MikroCは7.6.0が最新版になりますが、新しいPICに追加されている機能をフルコントロールすることはできません。

例えばPIC16F1の新モデルには、従来使用する機能に合わせて制御できるピンが決まっていたけど、それを自由に変更できるPPSという機能があります。これ専用のRemappableライブラリがあるのですが、どうもうまく動きません。MikroCサポートフォーラムを読むと「MPLAB XとMCC(設定するだけでソースコードを吐き出す便利な公式拡張ツール)で出力されるコード参照するとよい」と書かれていたり、簡単に開発するためのツールだったのが、逆に面倒な状態になりつつあります。

さらに書き込みツールもPickit3等を使う場合は、結局MPLAB Xをインストールしたときに一緒にインストールされるIPEを使わないと、最新のPICには書き込みができません。2021.12.14 追記：最新のマイコンはPickit4が無いと書き込みできません。またMPLAB Xしか対応していません。

ソースコードもほぼ似たような書き方で動作するのでMikroCのソースコードが全く無意味ではないので、今後はMPLAB Xでも少しずつ使っていこうと思います。

2021.12.16 追記 MikroC for PICの後継としてNecto Studioというものがあります。最新のPICにも対応して、画期的なオンラインハードウェアデバッグとでもいうのでしょうか、デバッグ用ボードにマイコンとClickボード(MikroElectronicsが用意しているArduinoのシールドのようなボード)を搭載したものにWebカメラで全体を映したものをサーバーとして、ユーザーは少額の金銭の代わりにそのサーバーを使用して、ハードが手持ちになっても、ソフトウェアの作成、デバッグする事ができるという機能を搭載しています。

少し試したところNectoの新しいコンパイラのコードは従来のコードと互換が全く無い。ヘルプファイルも従来の分かりやすいものが無くなりました。MikroC特有のButtonやdelay\_ms関数の代替方法すらヘルプファイルから読み取る事ができず、お手上げでした。ただでさえユーザー数が少なく参考になるHPが無いのに、ここまで大きく変えるとは個人的には博打にでた感があります。

## MikroC [Necto Studio](#)リンク

[mikroC PRO for PIC | Mikroe PICマイコン関連 | マイクロテクニカ](#)

数少ないNecto Studioの使い方 [Learning Mikroe Clicker 2 - Getting Started](#)

## MPLAB X リンク

[マイクロチップ公式の入門動画 マイコン | テクニカルスクエア | 丸文 \(できるMPLABXというのが分かりやすいが導入部のみで止まっている\) MAPS - MCUs & MPUs page](#)仕様からPIC/AVRマイコンを探す)

From:

<http://www.deepsky.jp/wiki/> - うごくといいな

Permanent link:

<http://www.deepsky.jp/wiki/doku.php?id=elechobby:pic:pic&rev=1640064185>

Last update: **2025/10/17 14:20**

